

止めよう再処理！100万人署名

内閣総理大臣 様
経済産業大臣 様
原子力委員会 様
原子力規制委員会 様

1993年から始まった六ヶ所再処理工場の建設からすでに27年が過ぎましたが、いまだ工場は完成していません。この間原子力をめぐる環境は大きく変わり、原発の新增設はなく、原発の廃炉が相次いでいます。核燃料サイクルをめぐる状況も高速増殖炉原型炉「もんじゅ」は廃炉となり、高速炉開発も行き詰まり、プルサーマル計画が低調なままで、プルトニウム利用政策はもはや破綻しています。しかし、いまもって日本のエネルギー政策では、原発推進、核燃料サイクル推進が貫かれています。

2011年3月11日の福島原発事故以降、原発をめぐる世論は大きく変わり、圧倒的多数は脱原発を求めています。核燃料サイクル政策の破綻は、六ヶ所再処理工場とMOX加工工場とむつ使用済み核燃料中間貯蔵施設の存在意義を失わせました。余剰プルトニウムを持たないことを国際公約としている中で、これ以上プルトニウムを増産すれば、周辺諸国に「核武装」の懸念を与えます。そのような中で核燃料サイクルを進めれば、処理・処分が難しい核のごみを増やし、危険なプルトニウムを増やすだけです。しかも、これに掛かる経費は電気利用者が支払うことになっているのに、国民には知らせずに進めています。

原子力政策、核燃料サイクル政策が破綻している現状を直視し、政策の根本的転換がいま求められています。青森県六ヶ所村で進められている再処理工場やMOX加工工場とむつ使用済み核燃料中間貯蔵施設、大間フルMOX原発の建設は即刻中止すべきです。

以上の理由から、私達は下記の実現を強く求めます。

1. 原子力政策、核燃料サイクル政策の根本的転換を求めます。
1. 六ヶ所再処理工場、MOX加工工場、むつ使用済み核燃料中間貯蔵施設、世界初の「大間フルMOX」原発の建設中止を求めます。
1. プルトニウム利用政策の放棄を求めます。
1. プルサーマル計画の中止と第二再処理工場計画の放棄を求めます。
1. 下北半島を核のごみ捨て場にしないことを求めます。
1. 原子力政策、核燃料サイクル政策について公開討論会を求めます。

お 名 前	ご 住 所

止めよう再処理！100万人署名実行委員会

呼びかけ団体 原水禁国民会議・原子力資料情報室・核燃料サイクル阻止1万人訴訟原告団

核燃料廃棄物搬入阻止実行委員会・反原発運動全国連絡会・青森県反核実行委員会

送 付 先 青森県反核実行委員会 030-0811 青森県青森市青柳1-3-14 TEL 017-776-5665

締め切り 2021年3月31日